

令和7年度みやぎの青少年意見募集事業 ～アンケート実施結果～

テーマ

「自転車利用時の乗車用ヘルメット
着用促進について」



○概要

【対象】 県内の高校生

【募集期間】 令和7年7月3日～令和7年8月31日

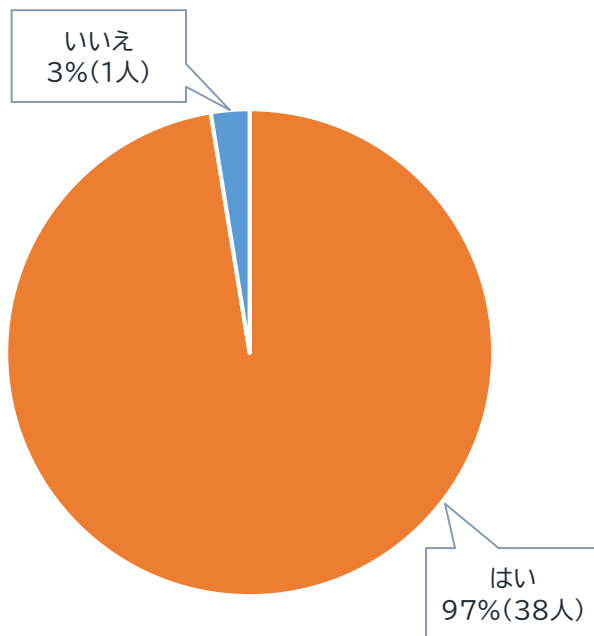
【回答者】 39人

【回答方法】 WEBアンケート・紙のアンケート

○結果

設問 1

自転車利用時の乗車用ヘルメットの着用が、法律や県条例で努力義務とされていることを知っていますか。（回答者：39人）

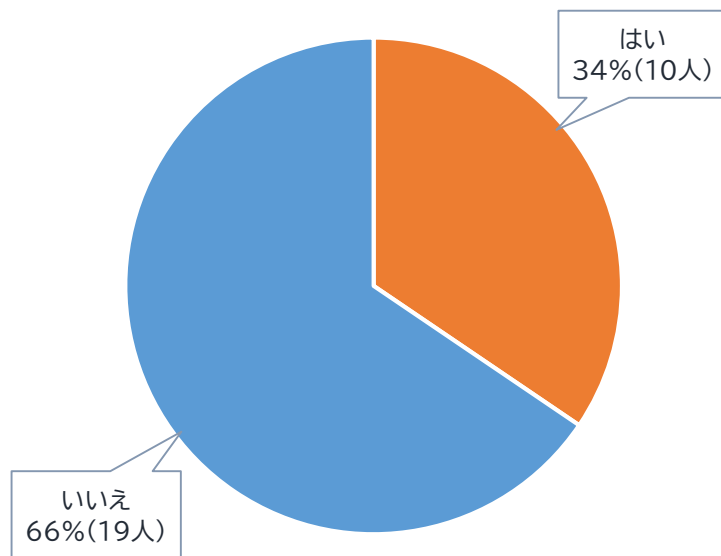


ほとんどの人が、努力義務とされていることを知っていました！

○結果

設問2

(自転車を利用している方) 自転車利用時にヘルメットを着用していますか。(回答者: 29人)

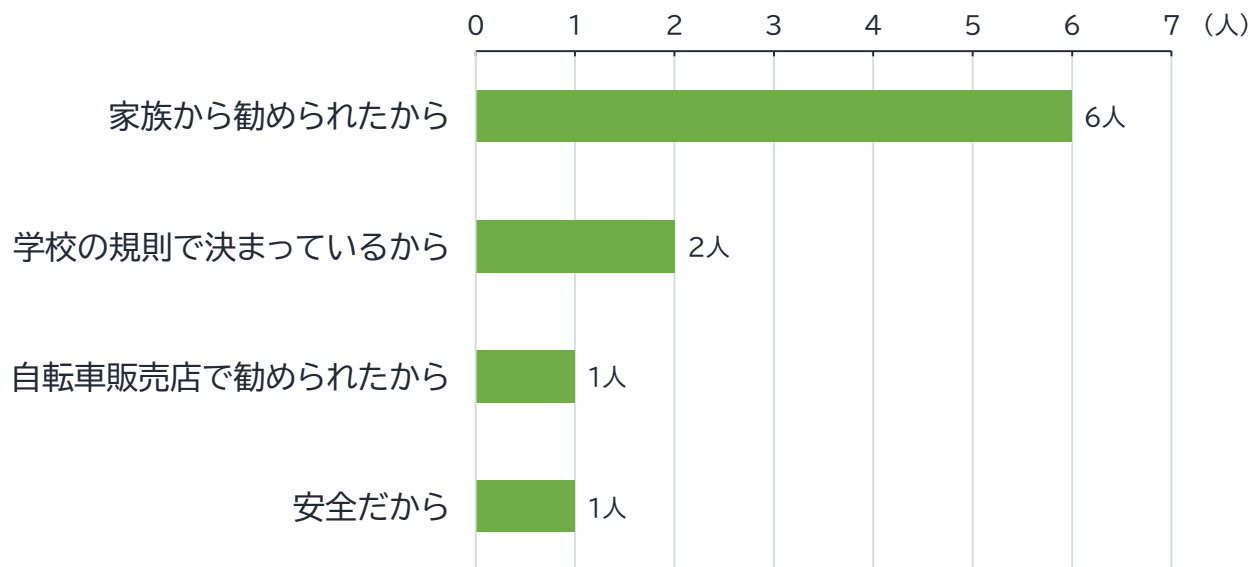


実際にヘルメットを着用している人は少ないようです。

○結果

設問3-1

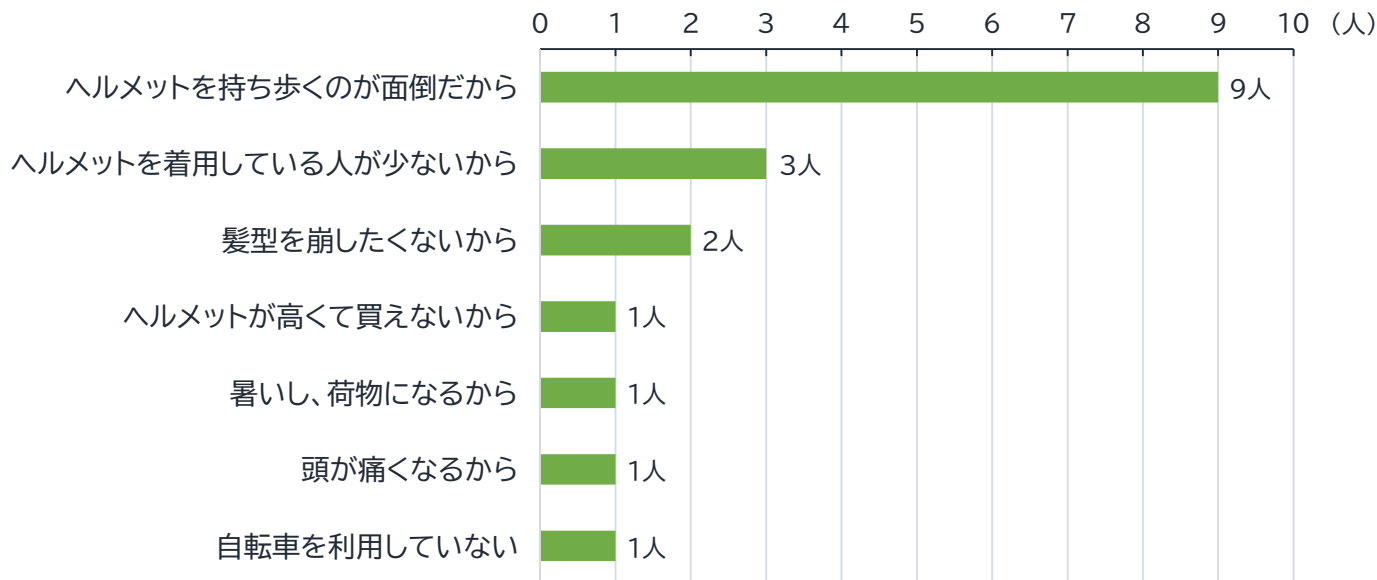
(着用している方) ヘルメットを着用するようになったきっかけは何ですか。(回答者: 10人)



○結果

設問3-2

(着用していない方) ヘルメットを着用していない理由は何ですか。(回答者: 18人)



○結果

設問4

自転車利用時にヘルメットを着用する人を増やすには、どのような工夫や取組が必要だと思いますか。

【自由記述】（回答者：35人）

- ・ヘルメット着用を義務化する。（8人）
- ・様々なデザインのヘルメットを作る。（8人）
- ・事故に遭った場合のリスクについて説明し、危機感を抱かせる。（5人）
- ・ポスターの掲示や呼びかけを行う。（5人）
- ・ヘルメットを自転車とセットで販売したり、無料で配布したりする。（4人）
- ・ヘルメットを着用していない人に対する罰則を設ける。（3人）

○結果

設問5

若い世代の人に、自転車利用時のヘルメット着用を呼びかけるには、どのような工夫や取組をすればよいと思いますか。

【自由記述】（回答者：33人）

- ・ SNSで発信する。（8人）
- ・ 学校でチラシの配布や呼びかけを行う。（8人）
- ・ 校則などでヘルメット着用を義務化する。（5人）
- ・ ヘルメットを着用しないことのリスクについて周知する。（3人）

令和7年度みやぎの青少年意見募集事業 ～報告資料～

テーマ

「自転車利用時の乗車用ヘルメット
着用促進について」



○概要

テーマ	自転車利用時の乗車用ヘルメット着用促進について
担当課	地域交通政策課
テーマ説明	<p>自転車利用時の乗車用ヘルメットの着用は、法律で努力義務とされており、県内の着用率はわずかに増加していますが、全国平均を下回っている状況です。</p> <p>ヘルメットを着用していない者の致死率は着用者の約2.1倍となっているほか、自転車の交通事故負傷者は15～19歳の負傷者が最も多くなっています。</p> <p>大切な命と未来を守るため、ヘルメット着用率を増加させるにはどうしたらよいか、意見を募集しました。</p>
対象	県内の高校生
募集期間	令和7年7月3日～令和7年8月31日
回答者	39人
回答方法	WEBアンケート・紙のアンケート

○青少年の意見

自転車利用時にヘルメットを着用する人を増やすには、どのような工夫や取組が必要だと思いますか。

- ・ 事故にあった場合のリスクについて説明し、危機感を抱かせる。
- ・ ポスターの掲示や呼びかけを行う。

若い世代の人に、自転車利用時のヘルメット着用を呼びかけるには、どのような工夫や取組をすればよいと思いますか。

- ・ 学校でチラシの配布や呼びかけを行う。
- ・ ヘルメットを着用しないことのリスクについて周知する。

○いただいた意見の活用

ホームページの改正

自転車の安全利用に関するページについて、ヘルメットを着用しないリスクをより強調する内容に更新します。

また、全体的に簡潔で分かりやすい表現に書き換えます。

ポスターとチラシの作成・内容変更など

自転車乗車中の交通事故について、致死率の数値などを更新し、外国語版「自転車安全利用五則」のリンクを作成します。

また、ポスターとチラシを、高校をはじめとした教育機関などへ配布します。